

教材・教具の登録

| 領域・教科 | 作業学習 | 教材名 | 委託作業手順書 |
|--------|---|-----|---------|
| 指導目標 | 委託作業の全工程ができる。 | | |
| 教材のねらい | 毎回異なる委託作業の材料を、自分で確認しながら作業を進めることができる。 | | |
| 教材の画像 | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%;"> <p>教材の材料・作り方</p> <p>〈材料〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託材料写真 ・プレゼンソフト ・カラープリンタ ・ラミネーター ・マグネット ・タブレット端末 ・PC <p>〈作り方〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ①プレゼンソフトを使用し、作業の流れや注意事項等を入力していく。 ②特に注意するところには目立つ色を使用する。 ③掲示できるようにラミネートし、マグネットをつける。 ④一人でも確認できるよう、タブレット端末やPCにプレゼンデータを入れる。 </div> </div> | | |
| 使用の様子 | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%;"> <p>教材の使い方</p> <ol style="list-style-type: none"> ①手順書を前に貼り、説明、確認をする。 ②手元で材料の向き等、細かい部分を確認する。 ③プレゼン形式の手順書を、タブレット端末やPC、電子黒板で表示し、手順を確認する。 </div> </div> | | |
| 教材の有効性 | <ul style="list-style-type: none"> ・委託作業のため、細かい指定があるので、材料が替わると混乱しやすい。視覚的に表示しておくとうわからなくなった時に自分で確認しながら作業を進めることができていた。 ・特に難しい部分は手元で確認し、照らし合わせながら作業ができる。 ・iPadにデータ(写真やpdfデータ)を入れておくと、分からない部分を手元で拡大して確認することもでき、作業場を移動しても確認できるので便利である。 ・プレゼンデータは電子黒板やプロジェクターを使用して拡大表示ができる。 | | |